



USER'S MANUAL

SIP対応 IP電話機

VTL-ST02H

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

USER'S MANUAL

SIP対応 IP電話機

VTL-ST02H

使用前に必ずお読みください

本書の目的

本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくお使いいただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたします。

ご注意

- ・ 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第3者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・ 通信内容や保持情報の漏洩、改竄、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・ ハードウェア、ソフトウェア、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
- ・ 本製品内部のソフトウェア(ファームウェア)更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
- ・ 輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
- ・ 本製品は日本国内仕様であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。

著作権等

- ・ 本書に関する著作権は、ブラネックスコミュニケーションズ株式会社へ独占的に帰属します。ブラネックスコミュニケーションズ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態及び手段を問わず、本書の記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
- ・ 本書の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、本書の記述に誤りや欠落があった場合もブラネックスコミュニケーションズ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。
- ・ 本書の記述に関する、不明な点や誤りなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
- ・ 本書および記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品を安全にご利用いただくために

本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をご覧ください必ずお守りください。これらの事項が守られないとき、「感電」「火災」「故障」などが発生する場合があります。

これによって本製品を利用される方が負傷されたり死亡につながる恐れがあります。また、万一「発火」「発煙」「溶解」などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願いいたします。



■ 設置及び保管に関して

- ・動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。
範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで本製品をご利用にならないでください。
本製品が加熱することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・温度変化の激しい場所で本製品をご利用にならないでください。
動作範囲内の温度であっても温度変化が激しい場所でご利用することで、結露などが原因で感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。
本製品に液体がこぼれることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・コンピュータの取り付け口に異物などが混入しているときは取り除いてください。
コンピュータの取り付け口に異物が混入した状態で本製品を取り付けることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・本製品を分解、改造しないでください。
本製品を分解または改造することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。また改造は法律で禁止されています。

■ 取り扱いに関して

- ・高温に注意してください。
本製品の使用中は高温になっている恐れがあります。不用意に触ると火傷の恐れがあります。
- ・湿気やほこりの多いところに保管しないでください。
湿気やほこりの多いところに保管することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・本製品を重ねて設置しないでください。
本製品を重ねて設置することで製品が加熱し、感電、火災などの発生、または本製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用にならないでください。
振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用になることで、本製品の落下、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・静電気に注意してください。
本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。本製品を取り付ける際は、コネクタや取り付け部分を触れないなどの注意をしてください。
- ・落下や衝撃に注意してください。
本製品に落下や衝撃を与えることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

■ その他

- ・本製品は日本国内でご利用ください。
本製品は日本の国内法のもとで利用可能な製品です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認してください。
- ・ご利用のコンピュータのデータのバックアップを取得してください。
本製品のご利用にかかわらず、コンピュータのデータのバックアップを定期的に取得してください。万一不測の事態が発生し不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったとき回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。

目次

使用前に必ずお読みください	2
本製品を安全にご利用いただくために	3
第1章 はじめに	8
1 概要	8
2 特徴	9
3 接続するネットワークの確認	10
4 梱包内容の確認	11
5 各部の名称	12
第2章 使用環境	18
1 設置場所について	18
2 設置	18
3 ケーブルおよび電源の接続	21
4 PCポート（ハブ機能）の活用例	22
第3章 設定準備	26
1 正常起動時の動作	26
2 エラー表示	28
3 手動でIPアドレスを設定する	29
4 本製品を工場出荷時の設定に戻す	31
第4章 本製品の設定	34
1 TaRaBaホームページへのアクセス	34
2 設定内容の反映	34
第5章 有償アカウントへのアップグレード	36
1 本製品のTaRaBaアカウント	36
2 有償サービスへのアップグレード	37
第6章 本製品の使い方	32
1 電話のかけ方	40
2 一般電話への発信	41
3 電話の受け方	41
4 通話の保留	41
5 通話の履歴を見る	42
6 本製品の音量の調整	44

7 未サポート機能	44
第7章 本製品への着信をコンピュータでも受ける (コンピュータ用電話ソフトウェアの設定)	36
1 本製品とコンピュータの両方への同時着信	48
2 動作できるコンピュータの種類	49
3 ソフトウェアのダウンロードとインストール	50
4 ソフトウェアへのアカウントの登録	51
付録 仕様	54
ユーザー登録について	62
弊社へのお問い合わせ	63
質問表	64

第1章

はじめに

1 概要	8
2 特徴	9
3 接続するネットワークの確認	10
4 梱包内容の確認	11
5 各部の名称	12

はじめに

1 概要

本製品は、VoIP（Voice over Internet Protocol =インターネットを用いた音声通信、いわゆるIP電話）を実現するためのVoIP電話機です。VoIP規格は、SIP（RFC3261）に準拠しています。

標準的なLAN環境では、本製品をLANポートに差して、電源を投入するだけで、M2X社のIP電話サービス「TaRaBa」の30日間無償サービスをご利用いただけます。TaRaBa30日間無償アカウントは、添付の「お客様TaRaBaアカウント」用紙をご覧ください。なお、一般電話（固定電話・携帯電話・国際電話）に通話するためには、M2X社のTaRaBa有償サービスにお申込ください。

本製品は、TaRaBaサービスに最適化した設定が行われており、自動的に設定ファイルをダウンロードしたり、ファームウェアを更新する機能が組み込まれています。

2 特徴

SIP (RFC3261: Session Initiation Protocol) 準拠
既設コンピュータ用ケーブルを有効活用できるハブ機能
SIPキープアライブ/STUN/UPnPによるNAT越え
M2X TaRaBa 30日間無償アカウント1ヶ付属
DHCPクライアントによるIPアドレスの自動取得

1

はじめに

3 接続するネットワークの確認

次の条件に適合するネットワークでは、本製品をLANに接続して、電源を投入するだけでご利用になれます。以下に該当しないネットワークのときには、手動での設定またはLANの設定変更が必要になります。

DHCPによりIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ(ルーターIPアドレス)、DNSサーバーが自動的に割り当てられること

UDPポート5060番、41000番、41001番での本機の待ち受けが可能であること

SIPおよびRTPプロトコル(いずれもUDP)が利用できること。
RTPプロトコルは1秒間に50回のパケットを送受信しますが、この動作を攻撃と誤認しないこと

FTPクライアントが動作できること(FTPが使えないときには設定のダウンロードやファームウェアの自動更新が行えません)

インターネットに接続していること。本製品1台あたりの通話中の必要帯域は、約100Kbpsです。

4 梱包内容の確認

1

はじめに

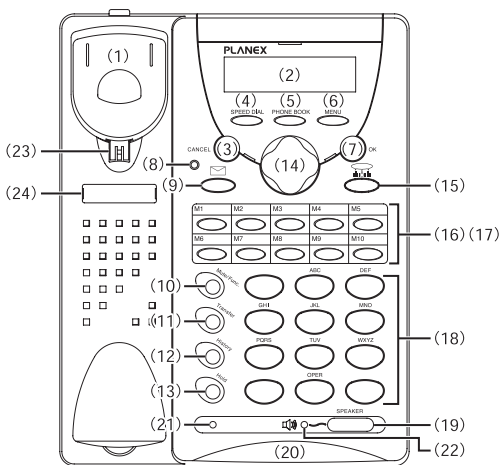
パッケージには以下の付属品が含まれます。

- ・ VTL-ST02H(本製品)
- ・ 受話器(カールケーブル付)
- ・ 専用ACアダプタ
- ・ ショートコード
- ・ 専用スタンド
- ・ LANケーブル(ストレート)
- ・ お客様TaRaBaアカウント設定用紙
- ・ ユーザーズマニュアル
- ・ 保証書

同梱物に破損または欠品があるときは、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

表面

はじめに

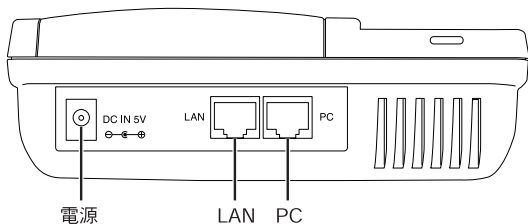


	ラベル	説明
(1)	(オフフックボタン)	受話器を置くことで、通話開始/終了を検知します。
(2)	液晶ディスプレイ	本機の状態などを表示します。
(3)	CANCEL (キャンセルボタン)	設定や通話、画面表示(着信履歴など)をキャンセルするときに使います。
(4)	SPEED DIAL (スピードダイヤル)	スピードダイヤル(短縮ダイヤル)を使うときに使用します(未使用)。
(5)	PHONE BOOK (電話帳)	電話帳を表示します(未使用)。
(6)	MENU (設定メニュー)	本機の設定情報を見たり、変更できます。

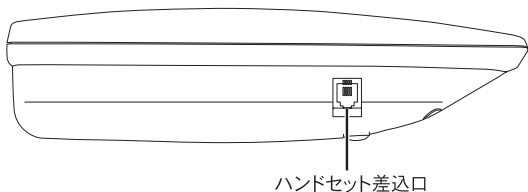
(7)	OK (OKボタン)	電話の発信時や設定などを実行するときに 使います。
(8)	(ボイスメール お知らせ)	ボイスメールに伝言があるときに点灯します (未使用)。
(9)	VOICE MAIL (伝言)	ボイスメール件数の表示などに使います (未使用)。
(10)	MUTE (声非送出)	マイク(送話)をオフにして、相手に無音を 送ります。
(11)	TRANSFER (転送)	電話を転送します(未使用)。
(12)	HISTORY (通話記録)	リダイヤル/着信履歴などを表示します。
(13)	HOLD (設定メニュー)	通話を保留します。
(14)	(カーソルキー)	通話記録や設定画面の操作を行います。
(15)	CONFERENCE (会議)	音声会議サーバーに接続します(未使用)。
(16)	M1-M6 (ラインキー)	ラインキーです。
(17)	M7-M10 (短縮キー)	短縮発信ダイヤルキーです。
(18)	0-9 * # (ダイヤルキー)	電話を発信するときなどに使うダイヤルキー です。
(19)	スピーカーフォン (SPEAKER)	スピーカーフォンとして使用するときを押します。 (ミュートボタン(10)を押さないとマイクはオン のため相手に声が届きます)
(20)	(内蔵マイク)裏面	スピーカーフォンで使用する内蔵マイクが裏 面にあります。
(21)	MUTING (ミュート中)	(10)のミュート機能が動作しているときに 点灯します。

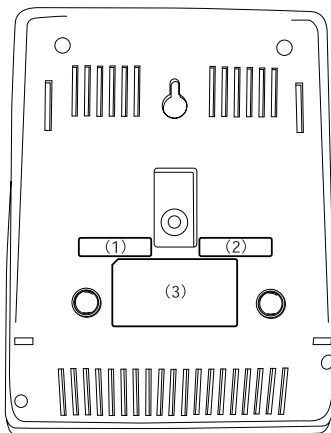
(22)	(スピーカー)	スピーカー動作中に点灯します。
(23)	(フック)	壁掛け時には上下逆に取り付けて受話器の脱落を防ぎます。
(24)	(ネームスペース)	カバー内に文字などを手書きできます。

背面



左側面





電話機の背面には、上図の通り、製造番号などが記載されています(実際の表記とは異なります)。

(1)	本製品のMACアドレスが記載されています。
(2)	本製品の製造番号が記載されています。
(3)	本製品のモデル番号などが記載されています。

第2章

使用環境

1 設置場所について	18
2 設置	18
3 ケーブルおよび電源の接続	21
4 PCポート(ハブ機能)の活用例	22

使用環境

使用
環境

本 製品を設置する際には、必ず以下の点をお守りくださいますようお願いいたします。

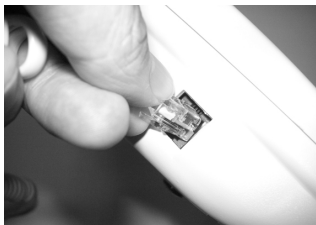
1 設置場所について

- ・ 湿気の多い場所に設置しないでください。
- ・ チリやほこりの多い場所には設置しないでください。
- ・ 直射日光のあたる場所や湿度の高い場所には設置しないでください。
- ・ 内部に熱がこもる原因となりますので、周囲にはなるべく空間をあけてください。

2 設置

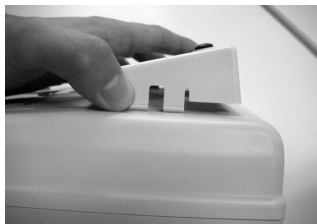
本製品はデスク上などの平らな場所に設置するか、壁に掛けて使用してください。

受話器の取付



受話器に接続されているカールケーブルの反対側(何も接続されていない方)を、本製品左側の接続穴に挿入します。

スタンドの取付(デスク上で使用するとき)



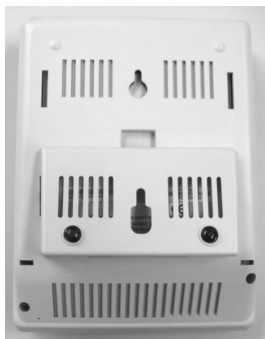
1. 本製品スタンドのゴム足部分が上側になる形で、裏面に取り付けます。
2. 本製品をデスク上などの平らな場所に設置します。

スタンドの取付(壁掛けで使用するとき)

2

使用 環境

1. 本製品のスタンドのゴム足部分が下側になる形で、裏面に取り付けます。
2. 本製品およびスタンドの壁掛け用の穴を利用して壁に掛けます(壁掛け用ネジなどは付属していません。市販のネジをご使用ください)。
3. 壁掛用フック(各部の名称の23)を取外して、爪が出る形で(元と逆向き)差し込みます。



3 ケーブルおよび電源の接続

2

使用環境

本製品は、インターネットに接続可能なLANケーブルを接続してから、電源を入れてください。

1. 本製品背面のLANと書かれた穴に、LANケーブルを差込んでください。



2. DC IN 5Vと書かれた穴にACアダプタからの電源ケーブルを差し込んで、その後にACアダプタを電源に差込んでください。



4 PCポート(ハブ機能)の活用例

本製品背面の「PC」と書かれた穴とコンピュータなどをLANケーブルで接続することで、本製品がハブとして機能して、コンピュータと本製品を同時に利用することができます。

この方法を使うことで、本製品のために新たにルータなどからLAN配線を行うことなく、本製品を利用いただけます。

もともとコンピュータが配線されている環境に本製品を導入するときは



1. コンピュータとLANケーブルを外します。
2. 外したLANケーブルを本製品の「LAN」と書かれた穴に差します。



3. 本製品に付属しているケーブルで、本製品の「PC」と書かれた穴とコンピュータを接続します。



本製品が再起動中などで利用できないときは、ハブ機能も停止します。このため本製品を再起動している間は、本製品に接続しているコンピュータなども利用できなくなります。

第3章

設定準備

1 正常起動時の動作	26
2 エラー表示	28
3 手動でIPアドレスを設定する	29
4 本製品を工場出荷時の設定に戻す	31

設定準備

3

設定準備

1 正常起動時の動作

正常起動時の動作

本製品にLANケーブルを接続して、電源を接続すると、自動的に初期化と必要なデータをサーバーから取得します。正常起動時の液晶ディスプレイの表示は次の通りです。なお起動処理中は本製品を使用できません。

初期化動作を行います。

**Initializing
Please Wait...**

カーソルが点滅します。



ハードウェアの初期化を行います。

**H/W Initializing
Please Wait!**

サーバーに接続します。

Connecting

接続が完了します。

10:00 Aug 01
00000000

3

設定
準備

正常起動に成功すると液晶上段に時刻、日付が表示され、下段に本製品に割当てられているTaRaBa番号が表示されます。

次のときには、正常起動できません。

DHCP(IPアドレスの自動割当)が行われない、または、DNSのみ手動設定のネットワークである。

IPアドレスを手動で設定してください。

ファイアウォールでUDPの利用が禁止されている。

本製品の待受けポートUDP5060、41000、41001の使用と、SIP/RTPの利用を開放するようにファイアウォールなどを設定します。

ファイアウォールなどでFTPの利用が禁止されている。

FTPが利用できないときは、本製品の設定自動更新機能やファームウェアの自動アップグレード機能が、ご利用いただけません。ご利用になるときは、本製品がFTPクライアントとして機能できるようファイアウォールを設定します。

ファイアウォールなどでDoSアタック検知機能により、RTP(每秒50パケット)を攻撃と認識してしまう。

攻撃と認識しないようにファイアウォールなどを設定します。

ファイアウォールの設定変更は、お客様のネットワークのセキュリティを緩めてしまうことがあります。お客様の責任でご判断ください。なお、ファイアウォールの設定変更方法などについては弊社のサポート対象外となります。

2 エラー表示

次のときはエラーです。LANの設定をご確認ください。また、本製品の設定を変えることで復旧できるときもあります。

「DHCP Initialize Please Wait」としばらく表示された後に、「DHCP Error: No IP Available」と表示される。

IPアドレスの自動取得ができませんでした。「7.IPアドレスの設定」をご覧ください。IPアドレスを手動で設定してください。

液晶の下端にTaRaBa番号が表示されない。

ネットワークケーブルが切断しているか、SIPセッションの接続に失敗している可能性があります。「8.M2Xに連絡して本製品の設定を変更する」をご覧ください。

3 手動でIPアドレスを設定する

3

設定準備

DHCP(IPアドレスの自動割当)が出来ないネットワークで本製品を利用するときや、固定IPアドレスを本製品に割当てるとき、次の方法で本製品のIPアドレスを設定してください。

本製品の電源を抜き、もう一度差します。

液晶ディスプレイに「 Initializing Please Wait 」と表示されます。

液晶ディスプレイのカーソルが点滅します。

液晶ディスプレイに「 H/W Initializing Please Wait 」と表示されたら、液晶ディスプレイ右下の「 MENU 」ボタンを押します。

「 Display Name: TaRaBaST02H 」と表示されます。

カーソルキーを2回下方向に押して「 DHCP ENABLE (DHCP有効) 」を表示します。

カーソルキーを1回右方向に押して「 DHCP DISABLE (DHCP無効) 」を表示します。

液晶ディスプレイ右下の「 MENU 」ボタンを押します。液晶ディスプレイに「 UPDATE CHANGES? <CABCEL> or <OK> 」と表示されます。

カーソルキー右側のOKボタンを押します。

本製品が再起動します。起動処理が終了し、時計が表示されるまで、お待ちください。

液晶ディスプレイ右下の「 MENU 」ボタンを押します。

カーソルキーを下方向に3回押して、「IP Address: 192.168.1.10」(数字部分は実際には異なります)を表示します。

ダイヤルキーを使って、IPアドレスを入力します。2桁のアドレスを入れるときには0を、1桁のアドレスを入れるときには00を付加してください。

カーソルキーを下方向に1回押して、「Subnet Mask: 255.255.255.000」を表示します。

ダイヤルキーを使って、サブネットマスクを入力します。

カーソルキーを下方向に1回押して、「Router IP: 192.168.1.1」(数字部分は実際には異なります)を表示します。

ダイヤルキーを使って、ルーターのIPアドレス(デフォルトゲートウェイ)を入力します。

液晶ディスプレイ右下の「MENU」ボタンを押します。液晶ディスプレイに「UPDATE CHANGES? <CABCEL> or <OK>」と表示されます。

カーソルキー右側のOKボタンを押します。

本製品が再起動します。起動処理が終了し、時計が表示されるまで、お待ちください。

本製品はサーバーと通信して設定を最新に保ちます。IPアドレス以外の設定を本製品のメニューで変更しても、サーバー側の設定が優先されますので、再起動時などにサーバー側の設定が上書きされてしまいます。なお、IPアドレス以外の設定項目を変更されたときは、弊社ではサポートの対象外となります。

4 本製品を工場出荷時の設定に戻す

3

設定準備

次の方法で本製品を、工場出荷時の設定に戻すことができます。なお、本製品の工場出荷時の設定では、サーバーと通信して設定を最新に保ちます。自動的な設定更新をしたくないときは、M2X TaRaBaのホームページから自動更新機能をオフにしてください。なお、自動更新機能をオフにしたとき、弊社ではサポートの対象外となります。

SPEAKERボタンを押します。

ダイヤルキーで「255*000」と入力します。

液晶ディスプレイに「Restore Default Setting」と表示されたら、OKボタンを押します。

液晶ディスプレイに「Are you sure? <CANCEL> or <OK>」と表示されたら、OKボタンを押します。

本製品が工場出荷時の設定に戻ります。

第4章

本製品の設定

- 1 TaRaBaホームページへのアクセス34
- 2 設定内容の反映34

本製品の設定

4

本製品の設定

1 TaRaBaホームページへのアクセス

本製品の設定は、M2X社のTaRaBaホームページを通じて行います。

コンピュータからWEBブラウザ(Internet Explorer)で、
<http://pci.taraba.net/> にアクセスします。

「マイページ」ボタンをクリックします。

本製品に添付されているアカウント設定用紙に記載されている
のアカウントとパスワードを入力します。

「TaRaBaマイページ」が表示されます。

2 設定内容の反映

「TaRaBaマイページ」での設定が完了したら、本製品の電源を一回
抜いて、再度差込むことで、変更内容が本製品に反映されます。

TaRaBaホームページの画像やレイアウトは適宜、変更されるとき
があります。

第5章

有償アカウントへのアップグレード

- 1 本製品のTaRaBaアカウント36
- 2 有償サービスへのアップグレード37

有償アカウントへのアップグレード

1 本製品のTaRaBaアカウント

本製品に付属しているTaRaBaアカウントには、次のような制約があります。

初回使用時から30日間までご利用できます。

一般電話（携帯電話、固定電話および国際電話）には発信できません。

本製品を継続的にご利用いただくには、お客様のアカウントをM2X社のTaRaBa有償サービスにアップグレードする必要があります。

2 有償サービスへのアップグレード

2004年10月現在のM2X社のTaRaBaサービスの料金は次の通りです。なお、最新の情報は、M2X社のホームページ <http://pci.taraba.net/> をご覧ください。

【TaRaBa有償サービス シンプルプラン】

初期費用1,000円

月額基本料金350円

一般電話(携帯電話、固定電話および国際電話)にも割安な通話料金で発信可能。携帯電話に1分17.32円、固定電話に1分7.14円、国際電話ニューヨーク1分1円、中国1分5円など。

クレジットカード払い

アップグレードは、<http://pci.taraba.net/> にアクセスして、「マイページ」の中から「アップグレード」を選択します。

5

有償
ア
カ
ウ
ン
ト
へ
の
ア
ッ
プ
グ
レ
ー
ド

第6章

本製品の使い方

1 電話のかけ方	40
2 一般電話への発信	41
3 電話の受け方	41
4 通話の保留	41
5 通話の履歴を見る	42
6 本製品の音量の調整	44
7 未サポート機能	44

本製品の使い方

1 電話のかけ方

本製品からの電話のかけ方には、次の方法があります。

- (A) 受話器をとって、ダイヤルキーから相手先番号を入力します。
- (B) スピーカーボタンを押して、ダイヤルキーから相手先番号を入力します。相手が出たら受話器をとって通話します。
- (C) ラインキーを押して、ダイヤルキーから相手先番号を入力します。相手が出たら受話器をとって通話します。
- (D) ダイヤルキーから相手先番号を入力してから、受話器をとります。
- (E) ダイヤルキーから相手先番号を入力してから、スピーカーボタンを押します。相手が出たら受話器をとって通話します。
- (F) ダイヤルキーから相手先番号を入力してから、OKボタンを押します。相手が出たら受話器をとって通話します。

(A) (B) (C)での発信のとき、本製品はキー入力から約2秒で発信動作に入ります。メモなどを見ながら、ゆっくり相手先の番号を入力したいときなどは、(D) (E) (F)の方法をご利用ください。

スピーカーフォン機能の制限事項

本製品のスピーカーボタンを押すと、本製品はスピーカーフォンとして機能します。スピーカーフォンとしてご利用のときは、ご自身の声は相手に聞こえています。ご自身の声が相手に聞こえないようにするには、ミュートボタンを押してください。

スピーカーフォンとしてご利用いただいても、本製品のマイク感度が低いために相手に声が聞こえないことがあります。本製品での通話は、受話器を使って行ってください。

2 一般電話への発信

「1001」にダイヤルすると、ご自身の声が返ってきます。本製品の接続確認にご利用ください。

3 電話の受け方

電話がかかってくると、着信音が鳴ります。受話器をとるか、スピーカーボタンを押して、電話を受けます。また、着信中にはラインキーが点滅します。点滅したラインキーを押しても、電話を受けられます(スピーカーボタンを押したのと同じ動作です)。

通話中に着信があると、別のラインキーが点滅します。現在の通話を保留するか終了して、点滅しているラインキーを押して、電話を受けます。

4 通話の保留

HOLDボタンを押すと、通話中の電話を保留することができます。相手には保留音が聞こえます。また、保留中は、ラインキーは点滅します。保留中は、受話器を電話機に戻していただいても構いません。

通話中の着信があったときに、点滅中のラインキー(新たに着信した電話)を押すと、それまでの通話中の電話は保留されます。保留中の回線は点滅で示されます。

通話中の電話を保留して、別の電話を発信するためには、次の方法があります。

A:点滅/点灯していないラインキーを押して、新たな通話先の番号をダイヤルします。

B:HOLDボタンを押して(通話中のラインキーが点滅表示になります)、オフフックボタンを押すか、受話器を戻してスピーカボタンを押して、新たな通話先にダイヤルします。

保留秒数が一定時間を経過すると、保留の時間切れとなり、呼出音が鳴ります。

5 通話の履歴を見る

HISTORYボタンを押すと、通話履歴を見ることができます。なお、通話履歴はM2X TaRaBaの「マイページ」でもご確認いただけます。

リダイヤル(HISTORYボタンを1回押す)

HISTORYボタンを1回押すと、ダイヤルした通話の履歴が表示されます。通話履歴は、カーソルキーを上下に押すことで順次見ることができます。また、右側に押すと、履歴の詳細を見ることができます。

履歴が表示されているときにOKボタンを押すか、スピーカボタンを押すと、履歴の表示先への通話を開始します。CANCELボタ

ンを押すと、履歴を消去できます。

不在着信

不在着信があると、「Missed Call」とディスプレイに表示されます。ボタンを2回押すと、不在中に着信した相手先の番号の履歴が表示されます。履歴は、カーソルキーを上下に押すことで順次見ることができます。また、右側に押すと、履歴の詳細を見ることができます。

履歴が表示されているときにOKボタンを押すか、スピーカーボタンを押すと、履歴の表示先への通話を開始します。CANCELボタンを押すと、Missed Callの表示を消すことができます。

着信番号

HISTORYボタンを3回押すと、相手からかかってきた通話の履歴が表示されます。履歴は、カーソルキーを上下に押すことで順次見ることができます。また、右側に押すと、履歴の詳細を見ることができます。

履歴が表示されているときにOKボタンを押すか、スピーカーボタンを押すと、履歴の表示先への通話を開始します。CANCELボタンを押すと、履歴を消去できます。

6 本製品の音量の調整

本製品の音量は、次の方法で調整できます。

着信ベル音量の調整

本製品が通話などを行っていない状態で、カーソルキーの上下ボタンを押します。液晶ディスプレイには、Ringer Volumeと表示されます。

スピーカー音量の調整

スピーカーフォンで通話中にカーソルキーの上下ボタンを押します。液晶ディスプレイには、Speaker Volumeと表示されます。

受話器音量の調整

受話器で通話中にカーソルキーの上下ボタンを押します。液晶ディスプレイには、Handset Volumeと表示されます。

7 未サポート機能

本製品の機能のうち、次の機能は、2004年10月時点ではサポートされていません。最新のサポート状況および使い方は、M2X 社のTaRaBaサービスのホームページ（<http://pci.taraba.net>）の「マイページ」をご確認ください。

- ・ボイスメールお知らせ
- ・伝言（TaRaBaサーバー側の留守番電話機能はご利用いただけます）
- ・電話帳（TaRaBaサーバー側の電話帳機能はご利用いただけます）
- ・スピードダイヤル
- ・転送

- ・音声会議（TaRaBaサーバー側の音声会議機能はご利用いただけます）

6

本製品の使い方

第7章

本製品への着信をコンピュータでも受ける (コンピュータ用電話ソフトウェアの設定)

- 1 本製品とコンピュータの両方への同時着信48
- 2 動作できるコンピュータの種類49
- 3 ソフトウェアのダウンロードとインストール ...50
- 4 ソフトウェアへのアカウントの登録51

本製品への着信をコンピュータでも受ける (コンピュータ用電話ソフトウェアの設定)

1 本製品とコンピュータの両方への同時着信



添付の用紙「お客様TaRaBaアカウント」にある、お客様のアカウントの番号（ID）とパスワードをコンピュータ上の電話ソフトウェアに入力すると、本製品とコンピュータの両方で電話をすることができます。このとき、着信時には、本製品とコンピュータの両方の呼出音が鳴ります。

たとえば、出張や旅行の際に、電話ソフトウェアをインストール/起動したノートコンピュータをインターネットに接続しておけば、本製品宛の着信を、外出先で受けられます。

7

本製品への着信をコンピュータでも受ける

2 動作できるコンピュータの種類

電話ソフトウェアを使うには、次のコンピュータ環境が必要です。

- ・ Windows(XP/2000/Me/98SE)またはMac(OS X 10.2以降)
- ・ インターネットへの接続(100K以上。携帯電話などのパケット通信はご利用になれません。なお、M2Xホームページにて別売りしているPro版ソフトウェアをご利用になると、ダイヤルアップや@FreeDなどの回線交換型PHSデータ通信でも、ご利用いただけます)
- ・ サウンドカードまたは外付けUSBサウンドカードやUSB受話器)
- ・ マイクおよびスピーカ(またはヘッドセットや外付けデバイス。マイク内蔵のノートコンピュータなどでは、イヤフォンを使うのみでも、通話可能です。なお、ノートコンピュータなどのマイク/スピーカ内蔵機器で、内蔵スピーカを使用して通話すると、マイクが相手の声を拾ってしまうことによるノイズが発生します。イヤフォンのご使用をお勧めいたします)

7

本製品への着信をコンピュータでも受ける

3 ソフトウェアのダウンロードとインストール

<http://pci.taraba.net/> にアクセスします。

「ログイン」リンクより、お客様のアカウントの番号(ID)とパスワードを入力します。アカウント番号(ID)は、添付の用紙「お客様TaRaBaアカウント」に記載されています。

「電話ソフトのダウンロード」リンクをクリックします。Windows版、Mac版を、ご使用のコンピュータに合わせてご利用ください(複数台で利用いただくことも可能です)。

ダウンロードした電話ソフトをインストールします。

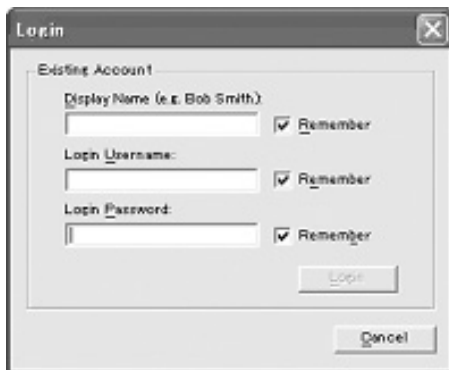
インストール最終段階で、「ソフトを起動する」を選択するか、ソフトウェアを起動します。

オーディオチューニング・ウィザードが起動します。画面の指示に従って、スピーカーやマイクのボリュームを設定してください。なお、オーディオチューニング・ウィザードは、ソフトウェア上で右クリックして表示されるメニューから「Audio Tuning Wizard」を選ぶことで再表示できます。



4 ソフトウェアへのアカウントの登録

オーディオチューニング・ウィザードが終了すると、数秒後に、以下のウィンドウが表示されます。アカウントBの内容を登録してください(Display Nameには半角英数字で相手に表示するお客様名を入力してください)。なお、ログイン画面は、ソフトウェア画面右上の「Login」文字列をクリックすることで再表示できます。



7

本製品への着信をコンピュータでも受ける

付録

仕様

仕様

項目	説明
ポート数	RJ-45 (ネットワーク) 2ポート LAN/PC (10/100BASE)
対応プロトコル	SIP
対応コーデック	G.711 μ -law / G.711a-law / G.723.1 (5.3k) / G.723.1 (6.3k) / G.729a/b
回線キー	最大10
設置形態	机置きおよび壁掛け
外形寸法	170 (W) × 100 (H) × 220 (D) mm (スタンド含む)
重量	900g (スタンド含む／専用ACアダプタ除く)
専用ACアダプタ	入力: AC100~240V 50/60Hz 0.3A 出力: DC5V 1.4A
電源	DC 5V
消費電力	最大 2.5W
動作温度	0~40℃
動作湿度	35~80% (結露なし)
EMI	CE Class B、FCC Part15 Class B、VCCI Class B
保証期間	製品お引渡しの日から1年間

MEMO

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

MEMO

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

MEMO

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

MEMO

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録をおこなっていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録をおこなってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録をおこなって戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

<http://www.planex.co.jp/user/>

弊社へのお問い合わせ

弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店様またはPLANEX Directまで。
ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

PLANEX Direct

<http://direct.planex.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。
ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

ご質問/お見積もりフォーム

<http://www.planex.co.jp/lan.shtml>

技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

お問い合わせフォーム

<http://www.planex.co.jp/support/techform/>

受付：24時間

電話

フリーダイヤル：0120-415977

受付：月～金曜日、10～12時、13～17時

* 祝祭日および弊社指定の休業日を除く

FAX

ファクス番号：03-5614-1018

受付：24時間

お問い合わせ前のごお願い

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。
お客様のご協力をお願いいたします。

- ・弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ・ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名(Windows XP/Meなど)
- ・ご利用のネットワークの環境(回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など)
- ・ご質問内容(現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されているときはその詳細を書きとめてください)

その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

ブラネックスコミュニケーションズ

<http://www.planex.co.jp/>

質問表

技術的なご質問は、この2ページをプリントアウトして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行

FAX : 03-5614-1018

送信日 : _____

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名 Product name.	SIP対応 IP電話機
型番 Product No.	VTL-ST02H
製造番号 Serial No.	

ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

ソフトウェア

ネットワーク OS	バージョン
OS	バージョン

質問内容

